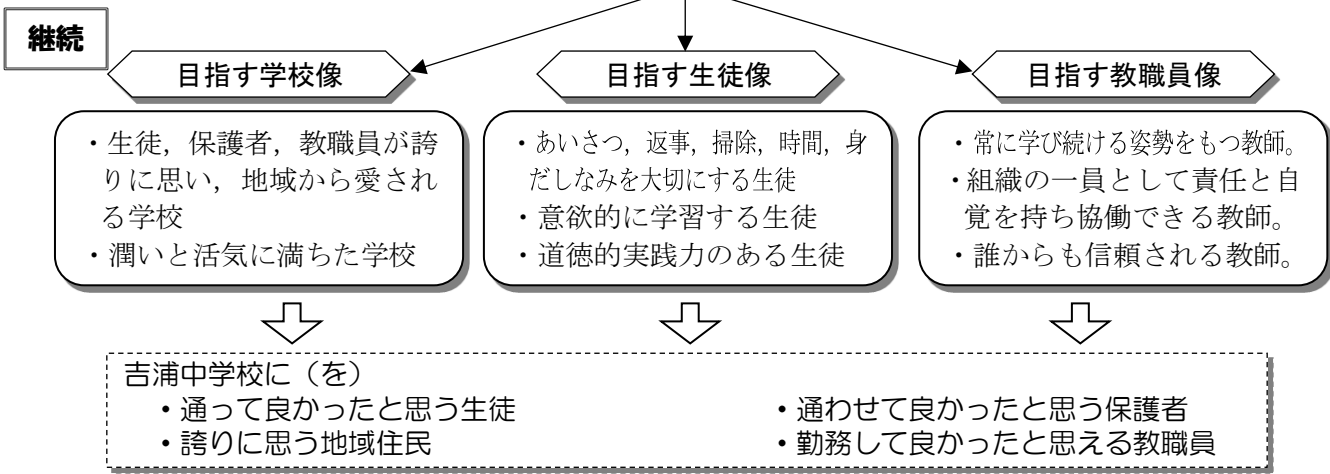
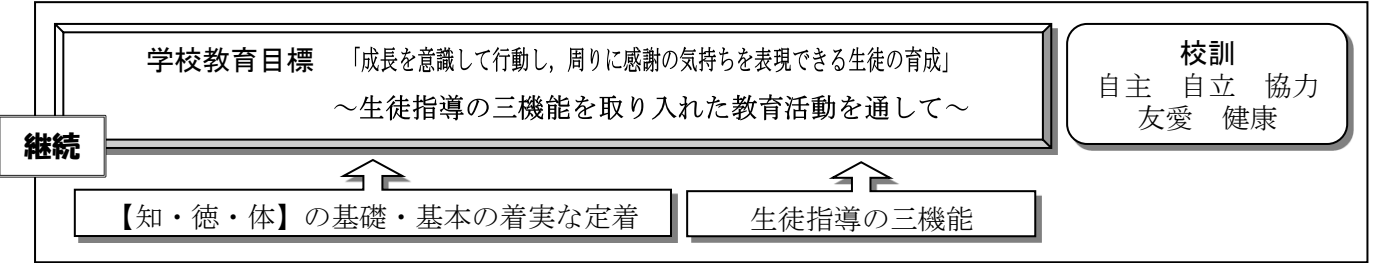


平成 29 年度学校教育計画

呉市立吉浦中学校長 小林浩樹

継続 吉浦中学校区の教育目標（小中一貫教育） 「かしこく やさしく たくましく」



一部変更

三つの重点施策

①「知」 授業改善の推進…「優れた授業は最大の生徒指導である。」

授業システムづくり	授業のユニバーサルデザイン化による授業改善の推進 ・「刺激量の調整」「構造化」「視覚化」「共有化」等を実践する。(別紙)
授業規律の徹底	「2分前着席の実施」「4秒礼を実施」「授業の開始に書く活動を実施」「返事のはいつを言わせる指導」「聴く姿勢の指導」→ H28 の継続
教室環境の整備	「整然とした机・椅子の位置」「カバンを置く位置」「ロッカーの整理整頓」「散らかっているゴミのない教室」「整然とした掲示物」→ H28 の継続

②「徳」 積極的生徒指導の推進…生徒の良いところを褒め、自己存在感を高める。

肯定的評価	生徒の成長した点を見つけ言葉で伝えることで評価をしましょう。「感謝」を伝えるために、生徒をしっかり観察しましょう。小さな「感謝」を積み重ねることで生徒の自己存在感を高めましょう。
SGEの実施	学期に1～2回、必ず構成的グループエンカウンターを実施してください。その際、必ず振り返り活動をさせましょう。
あいさつ・返事 時間 掃除 身だしなみ	「社会に出たときのマナー」を指導しましょう。まず、われわれから率先垂範しましょう。

③「体」 基本的な生活習慣確立の指導…「自分に負けない。」→「自己指導能力を育てる。」

時間の三点固定	「起床時間」「就寝時間」「家庭学習を始める時間」を固定させ、規則正しい生活を送るように指導しましょう。食育も推進しましょう。
部活動	一生懸命活動する楽しさを教えてください。技術だけではなく、マナーや集団行動も指導しましょう。体育系部活動では、体力も付けてください。
地域行事への参加	伝統のある地域行事へ積極的に参加するように奨励しましょう。

継続

基礎に据えたいものは『生徒指導の三機能』と『率先垂範』と「報・連・相・(確)」

自己決定の場	自分で決めて実行する場を設定しましょう。
自己存在感	価値のある存在ということを実感させましょう。
共感的人間関係	相互に尊重し合い、理解しあい、自分を語れるようにしましょう。
率先垂範	一人の大人として、生徒に背中を見せましょう（お手本になりましょう）。
報・連・相・(確)	組織を機能させるには「報告・連絡・相談・(確認)」が欠かせません。

継続

加えて取り組むこと

学力調査への対応…「結果を残し、教師も生徒も自信を持つ。」

A問題・タイプⅠへの対応	朝学習・特設放課後学習を学校組織で取り組みましょう。
30%未満生徒への対応	朝読書・特設放課後学習の時間を利用して基本的な問題をやらせましょう。
新聞の活用	各紙新聞記事を活用しましょう。長期的にB問題・タイプⅡへつながります。

より信頼される学校…不祥事は絶対に起こさない！→生起すると正常な教育活動ができない！

率先垂範	「背中を見せる」→常に自分はどうかが問われているという意識を！
定期的な研修	当たり前のことを再確認していく場を設けましょう。
情報発信	学校の様子を各通信やHPで発信しましょう。

生徒へ指導し続けてほしいこと（われわれも意欲し続けましょう！）

一生懸命やろう！	“一生懸命”であれば、必ず成長できる。“一生懸命”取り組んだ者でないと味わえないことがある。中学校3年間を充実させる。
周囲へ感謝しよう！	感謝することで、さらに成長できる。
健康で！	活動するための土台。栄養・睡眠・適度な運動・規則正しい生活（時間の三点固定）。一人で抱え込まず誰かに相談。